## SURPASS

# **Valves**

### バルブシリーズ

最先端の半導体業界で培った、多種多様なバルブをラインナップ。 プラグタイプやダイヤフラムタイプなどの切り替えバルブや、ノズル先端の液だれを防ぐサックバックバルブ。 マニュアル・電動式が選べるニードルバルブ。特殊スプリングを採用したチェックバルブ、リリーフバルブと

トータルでご提案します。また、圧力センサーなどを組み合わせた集積化も可能です。



エアオペレートバルブ/サックバックバルブ/モメンタリーバルブ 機種選定一覧表 · · P.156	ニードルバルブ 機種選定一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P.194
集積システム 概要 · · · · · P.157	ニードルパルブ 概要 ·····P.195
集積システム ES型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.158	ニードルバルブ HNV型・・・・・・P.196
集積システム 概要 P.157   集積システム ES型 P.158   集積システム TW型 P.158	ニードルバルブ 機種選定一覧表 P.194   ニードルバルブ 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
エアオペレートバルブ PSD型・・・・・・・・・・・P.159	ニードルバルブ CNV型・・・・・・・P.199
エアオペレートバルブ PSD型・・・・・ P.159 エアオペレートバルブ PSDX型・・・・ P.161	ニードルバルプ CNV型 P.199   ニードルバルブ HNV-SHT型 P.200
エアオペレートバルブ SD型 · · · · · P.163	- 使用上のご注意 · · · · · · P.202
エアオペレートバルブ SD-T型〈3方弁タイプ〉・・・・・P.168	チェックバルブ&リリーフバルブ 機種選定一覧表・・・・・・・・・・ P203
エアオペレートバルブ NSD型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	チェックバルブ CK型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.204
サックバックパルプ PSS型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	チェックバルブ CK-SHT型 P.206
エアオペレートバルブ NSD型 P.169 サックバックバルブ PSS型 P.171 サックバックバルブ SSV型 P.172	チェックバルブ CK型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
モメンタリーバルブ MVH型・・・・・・・・・・・・P.174	チェックバルブ FTI 型〈低クラッキング圧タイプ〉・・・・・・・・・・ P208
モメンタリ―バルブ MMV型/MTV型 P.176	チェックパルプ FTL型(低クラッキング圧タイプ) P.208   チェックパルプ FTX300P型 P.208
·使用 Fのご注意 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	チェックバルブ FTI $V200D$ 刑/低クラッセング $F$ タイプ $V$
・使用上のご注意 P.178   プラグバルブ機種選定一覧表 P.179	F.208
プラグパルプ VC型 P.180 プラグパルプ VC-SHT型 P.182 プラグパルプ VC-T型 P.184 プラグパルプ VC-M型 P.185	ミニチェックバルブ MFP型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.211
プラグバルブ VC-SHT型	リリーフバルブ RB型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
プラグバルブ VC-T型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リリーフバルブ RBF型・・・・・・・・・・・・・・・・・P212
プラグバルプ VCM型 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リリーフバルプ RB-HT型・・・・・・・・・・・・・・・・・・P213
プラグバルブ VC-G型/VC-A型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リリーフバルブ RBF-SHT型 · · · · · P.213
プラグバルブ VCM-G型	チェックバルブ SCV型〈SUSタイプ〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.214
プラグバルブ VC-TF型/VC-TF60型・・・・・・・・P.189	リリーフバルブ SAT型/SLT型/SUSタイプ〉・・・・・・P.215
プラグバルブ VC型 (小型タイプ) P.190	·使用 トのご注意 · · · · · · · · P216
イナートバルブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・使用上のご注意 P.216   薬液ミキサー MZ型 P.217
・使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・使用トのご注意 · · · · · · · · · P.218
K/III-VC/I/M	K/117-7-C/7/05

### Air Operated Valves / Suck back Valves / Momentary Valves

# エアオペレートバルブ/サックバックバルブ/モメンタリーバルブ

#### 機種選定一覧表

#### ●エアオペレートバルブ〈2方弁タイプ〉

型	操作方式	接続サイズ	接続形状	仕 様	アクチュエータ材質
PSD型	エアオペレート	1/4"	継手出し	NC·NO	PVDF
ト20元		3/8"	M <del>上</del> 山U		
	エアオペレート	1/4"	継手出し	NC·NO 流量調整機能 (オプション)	РР
SD型		3/8"			
0D±		1/2"			
		3/4"			
PSDX型	型 エアオペレート	1/4"	継手出し	NCのみ 精密流量調整機能	PVDF
100八至	T) 21 (1)	3/8"	₩E 1 円(C		1 401
		1/16"			
NSD型	! エアオペレート	1/8"	継手出し	NCのみ	PFA
		Ø3			

#### ●エアオペレートバルブ〈3方弁タイプ〉

型	操作方式	接続サイズ	接続形状	仕 様	アクチュエータ材質
SD-T型	エアオペレート	1/4"	継手出し	3方弁	PP

#### ●サックバックバルブ

型	操作方式	接続サイズ	接続形状	仕 様	アクチュエータ材質
SSV型	エアオペレート	1/4"	継手出し	ON・OFF―体機能付 サックバック量調整機能 (オプション)	PP
PSS型	エアオペレート	1/4"	継手出し	ON·OFF—体機能付	PVDF

#### ●モメンタリーバルブ

<b>・</b> モメノタリー				
型	操作方式	接続サイズ	接続形状	仕 様
	マニュアル	1/4"	継手出し	固定 ロックアウト機構 (オブション)
MVH型		3/8"		
WVII		1/2"		
		3/4"		
MMV型		1/4"		自動復帰仕様
MTV型	マニュアル	1/4"	継手出し	固定
MV型	マニュアル	1/4"		自動復帰仕様

### Momentary Valves

### モメンタリーバルブ MVH型

RoHS2



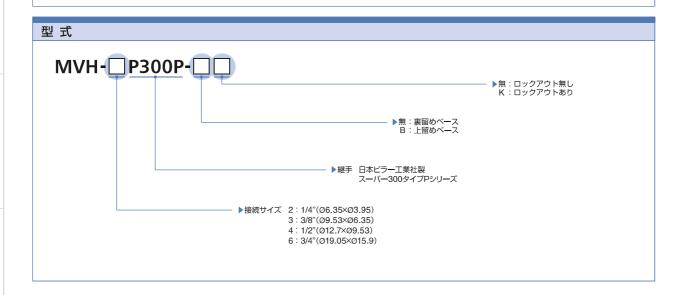
#### 特 長

- ◎接液部は耐食性を持つフッ素樹脂を採用し、耐薬品性・耐久性に優れています。
- ◎手動式開閉バルブです。
- ◎ メンテナンス用バルブ、フィルタのエア抜き用バルブとしてご使用いただけます。

#### 型式/仕様

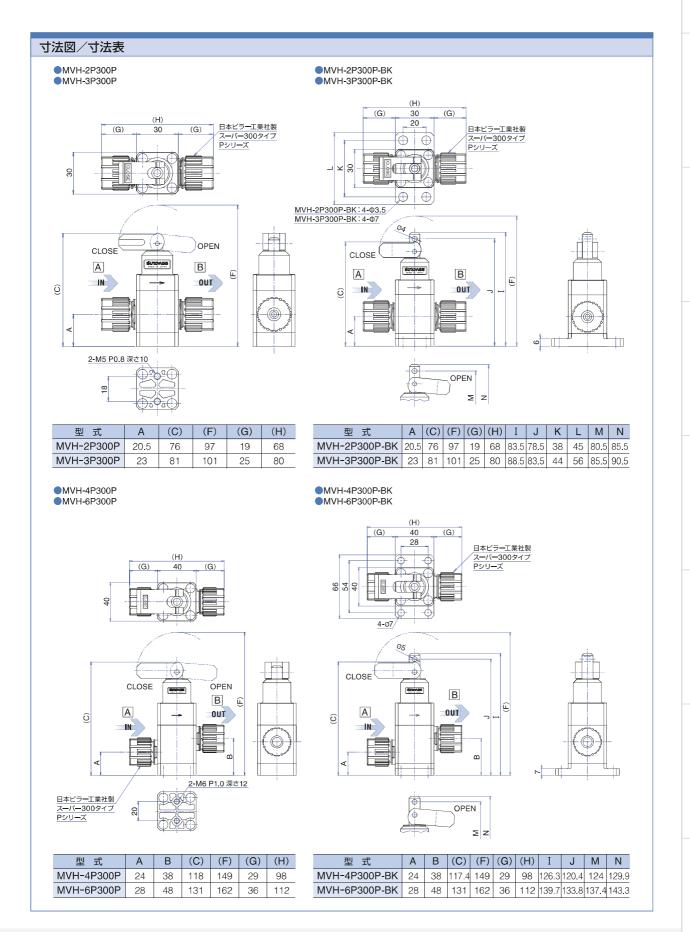
型式	MVH-2P300P-□	MVH-3P300P-□	MVH-4P300P-□	MVH-6P300P-□	
流体	気体、液体(純水、薬液)				
ボディサイズ	□30	□30	□40	□40	
接続サイズ	1/4"	3/8"	1/2"	3/4"	
技術リイス	Ø6.35ר3.95	Ø9.53ר6.35	Ø12.7ר9.53	Ø19.05ר15.9	
接続形状		継手	±U		
オリフィス径	Ø4	Ø7	Ø10	Ø16	
Cv值	0.3	0.8	2.3	5.1	
使用圧力範囲 A→B	0~50	00kPa	0~400kPa		
背 圧 B→A	0~30	00kPa	0~400kPa		
耐圧	750	kPa	1MPa		
弁座漏れ量	0mL/min(水圧)*				
流体温度	5~80°C				
環境温度	5~50°C				
取付姿勢	自在 PTFE				
接液部材質					

<sup>※</sup>窒素ガス・空気などの気体の場合は、最大で1cm³/min(空気圧)の弁座漏れが発生する可能性があります。



# SURPASS

Momentary Valves



### Air Operated Valves / Suck back Valves / Momentary Valves

#### <sub>「</sub>●使用上のご注意 ·-----



- ◎ご使用前に必ず各製品の取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書記載以外のご使用で発生した事故につきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。
- ◎製品の仕様範囲内でご使用ください。
- ○製品構成・材料と使用流体、周囲雰囲気との適合性を確認の上、ご使用ください。
- ◎ゴミ、異物が混入している流体はバルブの正常な機能を妨げますので、使用しないでください。
- ○研磨剤または凝固しやすい流体は、正常な機能を妨げますので、固着させないような方法を取るなどして、取り扱いには十分ご注意ください。
- ○必ず流体の流れを矢印方向となるように配管してください。
- ○配管による引張、圧縮、曲げなどの力がバルブに加わらないよう、配管してください。
- ○過大圧、ウォーターハンマーが発生しない条件で使用してください。
- ◎過大な振動、衝撃のかかるご使用はしないでください。
- ◎製品の分解はしないでください。
- ◎製品上部に重量物を載せないでください。
- ◎急激な流体温度変化が生じるような条件では、製品が破損するので使用しないでください。
- ○サックバックスピードの調整は、スピードコントローラをご使用ください。
- ○取り付け後、十分なエア抜きを行ってください。誤動作の原因となります。
- ○透過性の高い薬液を長時間使用する場合は、安全のため必ず定期点検を行ってください。
- ◎静電気が発生する場合は、機器が故障する可能性があります。帯電防止策を施してご使用ください。
- ◎必ず環境温度範囲内でご使用ください。
- ◎製品を直接外部から温めて使用しないでください。外部リークまたは内部リークなど故障の原因になります。